



## 7月進研模試の結果が返ってきました

まず、全体の傾向から述べます。

前回（1年1月）の模試との比較（国数英3教科合計）  
 全体の偏差値平均……………0.3アップ  
 偏差値3以上アップした人の数……………49人

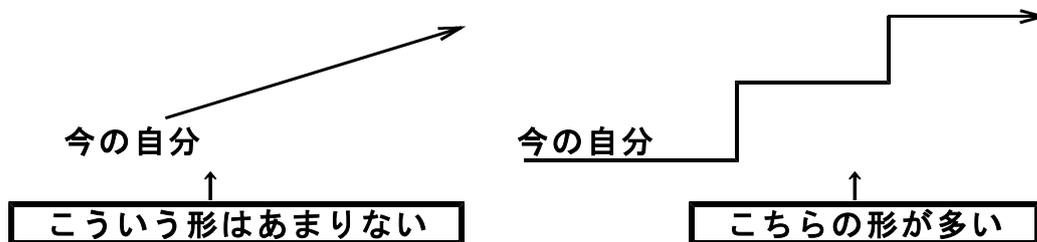
「なんだ、あまり上がってないじゃん……」と思った人がいるかもしれません。確かに前回よりも上昇率はゆるやかです。しかし、過去の年度を見ると、この時期は前回より下がっているケースがほとんどです。また、入学時から現在までの進研模試の成績伸び率は県下一です。そのことを示すデータとして、1年間の変化（1年生7月模試→2年生7月模試）も載せておきます。

1年前（1年7月）の模試との比較（国数英3教科合計）  
 全体の偏差値平均……………4.7アップ  
 偏差値10以上アップした人の数……………34人（19%）  
 偏差値5以上アップした人の数……………83人（47%）  
 偏差値3以上アップした人の数……………103人（59%）

一方、2年7月の模試で上昇率がゆるやかになったのは、以前にいた場所よりレベルの高い努力や工夫をしている人たちのステージに上がったからだと言えます。したがって、「さらに上を目指す」という気概がなければ、現状維持すら難しいかもしれません。また、「入れる大学」ではなく「入りたい大学」への合格を勝ち取るのに必要なのは、現在の学力ではなく、1年半後の学力です。高校生活が後半戦に入ろうとする今、ぜひここで兜の緒を締め直してください。そして学年全体で上昇ベクトルをキープし、「入りたい大学」への合格を勝ち取る空気を強めていこうではありませんか。それにはまず、目の前の課題に真摯に取り組むことが肝要です。すなわち、夏休みの課題と、夏休み明けの校内実力テスト対策です。その努力は、8/26（土）全統模試と9/16（土）スタディーサポート、そして10/28（土）～29（日）進研模試の結果に反映されていくことでしょう。

なお、今回の進研模試から大学の判定が出るようになりました。自信を持った人がいる一方、ショックを受けた人もいるかもしれません。しかし、くり返しになりますが、今回の判定はあくまで現在の自分の力をもとに出されたものであり、1年半後（つまり受験本番）の実力で出されたものではありません。また、成績は一直線に伸びるケースはあまりなく、階段状に伸びていくケースが多いと言われています。

< 成績の伸び方のモデル図 >



正しい努力を続けていけば、いつかグンと伸びる時が来るはずですが、ただしそれは少し先の話かもしれません。途中で投げ出さないことが肝要です。

Constant dropping wears away the stone.  
 点滴石をも穿つ（継続は力なり）

夏休みも残りわずかです。健全な生活リズムを維持し、8/25（金）の始業式を迎えましょう。